

令和元年 11 月 28 日

大阪市立自然史博物館長

電話 : 06-6697-6221

大阪市立自然史博物館の展示ケース及び標本が破損される被害について

大阪市立自然史博物館（東住吉区長居公園）において、展示ケース及び標本が破損される被害が 2 件ありました。

記

1 発生場所

大阪市立自然史博物館 本館 第 5 展示室（2F）、第 1 展示室（1F）

2 被害状況

第 5 展示室（2F） ギフチョウ展示ケースのねじが外れ、中の展示物であるギフチョウの胴体部分が破損し、台座の下に散乱していた。

第 1 展示室（1F） セミの幼虫展示ケースの開閉用ねじが外れ、中の展示物であるセミの幼虫 2 体が破損していた。

3 経過

・令和元年 11 月 24 日（日）午後 2 時 30 分頃

第 5 展示室（2F） ギフチョウ展示ケースについては、巡回中の警備員が発見し、当館の学芸員に報告があり、破損状況を現認。

・令和元年 11 月 27 日（水）午後 3 時頃

第 1 展示室（1F） セミの幼虫展示ケースについては巡回中の清掃担当者が発見し、当館の学芸員に報告があり、破損状況を現認。

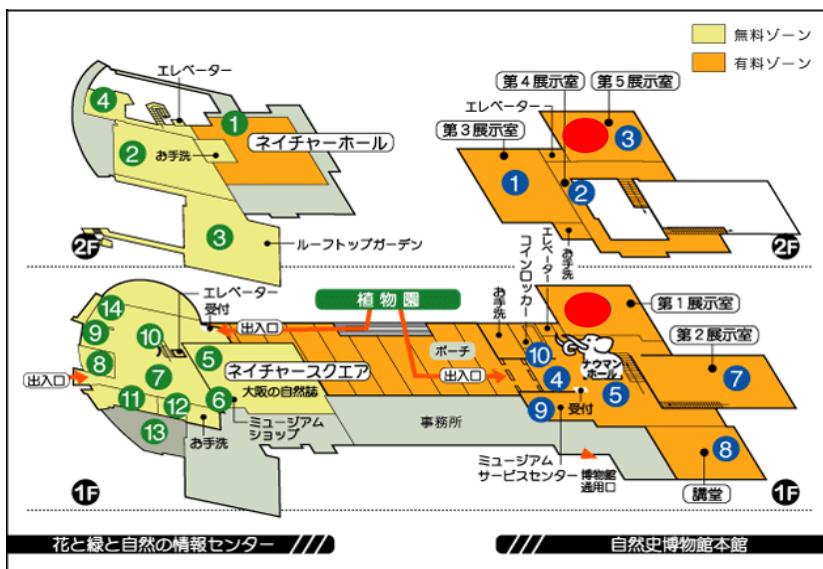
・11 月 28 日（木）午前

破損事例が続いたこともあり、東住吉警察署に器物損壊の被害届を提出。

4 今後の対応等

- ・第5展示室（2F）については、代替のギフチョウに交換のちビス止めにて修復。
- ・第1展示室（1F）については、清掃のち修復したが、代替のセミの幼虫はないため模写図をおいて代替。
- ・第5展示室の当該位置は防犯カメラから離れていること、第1展示室の当該場所は死角になることから、今後は警備員による巡回を、防犯カメラの死角に重点を置き強化する。また、展示ケースの留め具を破損しにくいものに交換するとともに、他の展示ケースについても留め具の点検を順次実施します。

(参考：館内地図、赤丸が展示場所)



(参考：被害状況)



第5展示室（2F）破損されたギフチョウ標本



第1展示室（1F）破損されたセミの幼虫標本の発見時の状況



隣接する標本展示の様子